

事業名	令和4年度魚病診断結果について（病害対策研究）
予算区分	県単
事業実施期間	令和4年度（継続事業）
担当者	住友寿明
共同研究機関等	

<目的>

水産研究課では、魚病の発生やまん延を防止するため、魚病発生の監視や養殖魚の衛生管理の指導を行っている。

ここでは、令和4年4月から令和5年3月の間、当課における魚病診断結果を報告する。なお、魚病診断の対象には、養殖魚以外にも、天然魚、放流用種苗とその親魚、試験研究用の魚及び観賞魚も含まれている。

<魚病診断結果>

淡水魚の魚病診断結果を表1に示した。

淡水魚の診断件数は、アマゴ9件、アユ12件、ウナギ24件、フナ1件、マゴイ1件の合計47件であった。診断件数は前年度に比べ6件増加した。

アマゴでは、せっそう病と細菌性鰓病が発生したが、冷水病は確認されなかった。また、アマゴを海面で養殖するため海水馴致を行ったところ、せっそう病が発生した。海水中で飼育していたにもかかわらず、せっそう病が発生した原因として、淡水飼育時からせっそう病の原因菌を保菌していた魚が、海水馴致の際のストレスで発病したことが考えられた。

アユでは、診断件数12件のうち6件は、放流前の保菌検査であり、いずれも冷水病原菌等の保菌は確認されなかった。前年度に引き続き、冬季に県有種苗生産施設のアユ種苗でビブリオ病等が発生したが、必要な生産量は確保できた。養殖アユでは、冷水病が発生したが、まとまったへい死はみられなかった。

ウナギでは、診断件数24件のうち、半数はパラコロ病だった。また、シラスウナギの鰓にシェードダクチロギルスが寄生していた事例があった。

フナ及びマゴイでは、県内の河川でへい死した事例があった。これらの検体は、同じ場所で採取されたものであり、腐敗が進んでいたため、へい死の原因は特定できなかった。

海水魚の魚病診断結果を表2に示した。

海水魚の診断件数は、アカウニ1件、カンパチ4件、クロアワビ1件、フェダイ1件、ブリ2件、マダイ1件の合計10件であった。診断件数は前年度に比べ16件減少した。

アカウニでは、養殖中のものが、冬季の水温低下時に棘抜け症で大量死した事例があった。

カンパチでは、当歳魚にエラムシが大量に寄生した事例があった。また、ハダムシが大量に寄生し、スレによってへい死したと考えられる事例があった。ビブリオ病は、*Vibrio harveyi* を原因菌とするものであった。

クロアワビでは、天然貝の畜養時にへい死した事例があった。漁獲時の外傷と水温上昇によるストレスでへい死したと考えられた。

フェダイでは、飼育試験用に捕獲した天然魚がへい死した事例があった。他の魚と同じ水槽で飼育したことによるストレスや外傷でへい死したと考えられた。

ブリでは、夏季に養殖の当歳魚がへい死した事例があった。現場における聞き取り等から局

所的な赤潮でへい死したと考えられた。

マダイでは、夏季に展示用の魚が白点病でへい死した事例があった。この魚は、循環式の水槽で飼育されていたため、水槽内で白点虫が増殖して多数が寄生し、重篤な症状になってへい死したと考えられた。

表1 淡水魚の魚病診断結果

魚種名	魚病名	魚病診断件数												計	
		R4						R5							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
アマゴ	せっそう病			1	2							2			5
	細菌性鰓病		1					1					1		3
	不明												1		1
	小計	0	1	1	2	0	1	0	0	0	2	1	1		9
アユ	異形細胞性鰓病		1												1
	冷水病				1										1
	ビブリオ病										1				1
	水カビ病												1		1
	不明					1				1					2
	保菌検査	2	2	1										1	6
	小計	2	3	1	1	1	0	0	1	0	1	0	2		12
ウナギ	ウイルス性 血管内皮壊死症			1				1	2						4
	バラコ口病	1	1		1	3	2	1	1		1		1		12
	鱧赤病								1						1
	シュートダクテロキルス症	1							1			2			4
	不明	1	1												2
	健康診断	1													1
	小計	4	2	1	1	3	3	4	2	0	3	0	1		24
フナ	不明											1			1
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		1
マゴイ	不明												1		1
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		1
合計		6	6	3	4	4	4	4	3	0	6	3	4		47

表2 海水魚の魚病診断結果

魚種名	魚病名	魚病診断件数												計	
		R4						R5							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
アカウニ	棘抜け症													1	1
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
カンパチ	ハダムシ症	1													1
	エラムシ症			1		1									2
	ビブリオ病						1								1
	小計	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0		4
クロアワビ	不明		1												1
	小計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1
フエダイ	不明							1							1
	小計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1
ブリ	不明				2										2
	小計	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		2
マダイ	白点病				1										1
	小計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1
合計		1	1	1	3	1	1	1	0	0	0	0	1		10